

---

# 笑顔/REBORN

深海

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

笑顔／REBORN

### 【Nコード】

N8968A

### 【作者名】

深海

### 【あらすじ】

山本×獄寺。BLなので御注意を。

「獄寺ー！」

「あん？」

学校の帰り道、振り返ると笑顔の山本。

俺は見なかったフリをして歩き続けた。だけど山本は無視を無視して俺の肩に腕を回して捕まえる。

「なんだよ、ちょっとくらい止まってくれたっていいだろ」

「んだよっ 離せ！ この野球バカ！ 気安く触んじゃねーよ！」

山本の手を振り払おうとしたら、思ったよりも力が入っちまってバチンといい音を立てて叩いてしまった。

「あ……」

俺が悪くて謝らなきゃいけないのに、素直じゃない俺は何も言えない。気まずい空気。でも山本はそんなことを気にしていないのか、俺が叩いた手をヒラヒラと振っている。

「いつてー。獄寺って案外力強いのかな」

「ふ、ふんっ」

調子が狂う山本の笑顔。

俺は山本を置いて歩きだした。すぐに山本が後を追ってくる。

「待てよ。一緒に帰ろうぜ」

何も言わない俺の頭をポンポンと叩く山本。睨んでやろうと振り返ったら、笑顔。

山本は俺が叩いて赤くなった手を俺に見せた。

「こんなの痛くねーぞ。だからんな顔すんなって！」

ヘラヘラと笑いながら、今度は俺の髪をクシャクシャにする。

俺がどんな顔してるってんだよ。確かに手を叩いたのは悪いと思うけど……。

「ほら、帰ろうぜ」

俺に差し出された山本の手。

「き、今日だけだからな！」

俺はその手を握り返した。多分、俺の顔は真っ赤なんだろう。

「ん、今日だけな。俺ん家寄ってくか？ 飯食ってけよ」

「誰がんなマズイもん……食ってく……」

山本のペースに飲まれるなんて嫌なのに、この笑顔。

俺が何を言おうと、何をしようと変わらない山本の笑顔。

調子が狂う。ああ、調子が狂う。

f i n

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8968a/>

---

笑顔/REBORN

2010年10月8日11時24分発行